



2018年度第1号 2018年7月31日

島根大学職員組合広報部

内線 (9)2198, ダイヤルイン 0852-32-6407

E-mail [shimane-uu@soc.shimane-u.ac.jp](mailto:shimane-uu@soc.shimane-u.ac.jp)<http://sula0043.soc.shimane-u.ac.jp/kumiai/kumiai.html>

## 中央執行委員長 挨拶 委員長就任に当たって

ニュースが出る頃には猛暑が終わっているかもしれませんが、連日の猛暑の中、島根大学の発展のために活躍されているみなさまに、委員長就任のあいさつをします。また中国地方を中心に襲った水害の被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。委員長としてたいしたことはできないような気もしますが、最近、はまっている考えについて述べて、組合の役割を自分なりに考えたことを述べたいとおもいます。NHK 人体という番組で人体とは脳がトップダウンで命令を下す上意下達構造ではなく、いろいろな器官で構成されるネットワークだということでした。つまり各臓器(心臓、腎臓、肝臓など)がメッセージ物質を出したり、受け取ったりして、それぞれの果たすべき役割をこなしています。つまり脳が心臓に「動け」、腎臓へ「掃除しろ」と命令するわけではなく、自律的に各臓器は役割をこなしながら、同時に必要に応じて、ある臓器が〇〇という物質がほしいとメッセージを出すと、別の臓器がそのメッセージを受け取って、〇〇という物質を出すというぐあいのようです(わたしの理解が正しければですが)。このように各臓器はどれが上で、下という関係ではなく、水平なネットワークを結んでいると理解しました。さて、大学はどうあるべきかという議論で、よくあるのはトップダウンあるいはボトムアップのどちらがよいかという古い発想ではないかとおもいます。この人体から学ぶなら(バイオメティクス?)、島根大学はいろいろな人やチームがフラットに結びついたネットワークであるべきではないかということでした。ふだんは各人、チームが自律的に活動しているはずで、でも時にはピンチだと信号を送るはずで、さてこのネットワークの中で組合がみなさまやあるいはチームが出した信号(人体ではメッセージ物質)を受け取り、その危険信号を大学執行部に効果的に発したり、あるいは組合自身が信号を出したりして、みなさまに情報を送ることができればよいのかなとおもいました。愚痴でもぼやきでもなんでもかまいませんので、みなさまからどんどん組合に向けて、メッセージ物質を送ってください。聞くだけに終わることもあるでしょうが、何らかの役に立つように一年間つとめたいと思います。

島根大学職員組合 中央執行委員長 小林和広

### 2018年度 団体交渉項目(予定)

1. 良好な労使関係の構築(定期的な懇談会を利用して)
2. 学部改組、大学院改組問題
3. 給与問題
4. センター所属教員の労働環境の改善
5. 再雇用に関わる要望
6. 一般職員の個人評価
7. 一般職員の労働環境改善

\* 継続的重要課題：有期雇用職員の無期転換実現！

# 中央執行委員紹介

1. 名前 2. 所属 3. 島大で好きな場所 4. 自分を動物に例えると 5. 中執として取り組みたいこと

## 中央執行委員長・調査部

1. 小林 和広 (こばやし かずひろ)
2. 農生命科学系 (生物資源科学部)
3. 水田: もちろん実験する場所 (仕事場) だからですが、カエルやカモ、カラスなどいろんな動物にも出会えます
4. 森のくまさん
5. NHK 人体という番組で人体とは脳がトップダウンで命令を下す上意下達構造ではなく、いろいろな器官で構成されるネットワークだということでした。トップダウンとかボトムアップとかいう古い発想ではなく、島根大学というネットワークの中で組合が情報 (人体ではメッセージ物質) を発したり、教職員の出すシグナル (人体ではストレス反応) を受け止めて、上層部に危険信号 (人体では高血圧とか動脈硬化か?) を送れたらとおもいます。



## 中央執行副委員長、広報部

1. 西崎 緑 (にしざき みどり)
2. 人間科学部 (福祉)
3. 松江キャンパスメイン通り 背の高いプラタナスの並木が好き。
4. 犬 (戌年生まれで、よく吠える)
5. 学問の自由があるのが大学の魅力。多様性を確保するためには、それを実現できる人材が必要だと思うので、大学の各所で働く人の労働条件を改善していきたい。



## 書記長・教文部

1. 亀井 淳志 (かめい あつし)
2. 総合理工学部 地球科学科
3. 質量分析計がある部屋での分析  
理由: メールが来ない, 電話が来ない, 依頼人が来ない. 何も来ない。
4. カメ (時間がゆっくり, のろい所にあこがれる)
5. 各学科の【教育経費の大赤字】を改善したい. 今年, 授業をしたら各学科予算が赤字になる大学になってしまった. 「授業で毎回 500 円取る」ような議論が会議で真面目に出てくる. もし取ることを決めたら, 学生は怒るだろうか. 呆れるだろうか. 嫌な SNS 拡散も容易に浮かぶ. 『必修授業で毎回 500 円乙. これマジで, ヤメトケ島大.』県内の出身高校や受験生に内情を一斉注意喚起されたらダメージは小さくない. 下手をすると逝く.  
大学は教育を死守する義務がある. だから教育予算を赤字にしてはいけない。



## 中央執行委員・教文部

1. 川瀬 雅也 (かわせ まさや)
2. 教育学系
5. 教文部の担当となりましたので、学内教研集会などの充実に少しでも貢献できたらと思っています。



中央執行委員・調査部

1. 久保 満佐子（くぼ まさこ）
2. 生物資源科学部
3. 図書館。本が好きなので。図書館で思う存分読書した学生時代が懐かしいです。
4. 動物は専門外なので植物にさせてください…桂の木。
5. はじめてなので、まずはいろいろと勉強したいと思います。よろしくお願いします。



中央執行委員・文化厚生部

1. 小畑 宗平（おばた そうへい）
2. 企画広報情報課（大学の広報担当です。）
3. アーチェリー場（島大アーチェリー部のOBだから）
4. 犬（猫の面もあるかもしれません。）
5. 職員支部の課題を中執会議で伝えて取り組みたい。



中央執行委員・広報部

1. 田中 浩子（たなか ひろこ）
2. 企画部企画広報情報課（総合博物館）
3. 図書館（本が好きなのと雰囲気の良いところが好きな理由です。）
4. 「こじか」（昔、動物占いで「こじか」だったので。  
占い結果も当たっている気がします。）
5. 初めてのの中執ということでわからないことばかりですが、微力ながらも力になれたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



中央執行委員・教文部

1. 宮本 恭子（みやもと やすこ）
2. 法文学部法経学科
4. ネコ
5. 職場県境の変化、働き方の変化という中で、教職員の皆様の労働環境の向上に取り組めるよう精一杯努力したいと思います。  
1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



中央執行委員・文化厚生部

1. 山崎 泰孝（やまざき やすたか）
2. 法文学部言語文化学科ドイツ語ドイツ文化研究室
3. 自分の研究室、落ち着くから
4. ヒヨコ
5. 少しでも働きやすい環境になるよう力を尽くしたい



組合員のみなさま、今年度1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

## 2018年（9月までの）組合カレンダー

2018年6月15日	島根大学職員組合定期大会
7月7日～8日	全大教定期大会
7月17日	第1回中央執行委員会
7月23日	平和大行進参加
7月31日	三役と大学執行部との顔合わせ
9月11日	第2回中央執行委員会（*毎月火曜日昼休みが定例）
9月14日～16日	全大教 教研集会(岡山大学)→参加者募集中

## 全大教 2018年度定期大会報告

7月7日午後1時から8日午後2時まで全大教第51回定期大会に出席しました。主な内容を報告します。全国から61単組の出席がありました。

1) 来年度の定期大会からこれまで2日間かけた大会を1日で行うことに決定しました。午前10時から午後5時30分までというスケジュールで、次回からの定期大会を行う予定となりました。その理由は2日のうち1日だけ出席、あるいは2日とも出席はするが、初日と2日目とは別々の人が参加するという単組が増えていることによります。短縮された時間でできる限り有効な議論ができるように、全大教中執は今後、大会の運営方法に検討をする予定です。

2) 裁量労働制における労働時間管理について報告があり、形骸化している大学もある一方で、労働時間がある時間を超える場合は産業医の面接が実施される大学もあるということでした。自宅で働いた部分も報告に入れてよいという大学もある一方、島根大学同様に、大学内での時間のみという大学もありました。制度の趣旨からは、自宅で働いた時間も入れるべきだそうです。

3) 有期雇用職員の大量の雇い止めが発生した東北大学職員組合から報告がありました。また、信州大学のように基本的には全員の無期転換実施できた大学でも、プロジェクトのための臨時的な有期雇用制度を図書館のような恒常的な業務を行っている場所に拡大しようとしているという報告もありました。

4) 岩手大学は財政的に人勧実施することができないということで人勧準拠をやめたそうです。信州大学でも基本的には人勧準拠だが、できないときは出さないというように当局はいつているそうです。

5) 全大教も財政が苦しく、2008年度の収入1.6億から2017年度は1億円まで3分の2に減っています(年5%くらい減少)。支出削減のため、教研集会や専門部の全国集会などを隔年実施にし、さらに、書記局専従体制において役員3人書記3人から、役員2人書記2人に減りました。さらに全大教事務所を2019年4月ごろに移転するそうです。

なお今年の9月に全大教教職員研究集会が岡山大学で行われます。一昨年から隔年開催となり、2年ぶりとなりますし、島根大学からも近いですので、できれば若手職員も含めて2名以上を派遣したいと考えています。

(中央執行委員長 小林和広)

## 緊急アンケート 調査部からのお願い

各学部の教員の教育・研究費について大学からどの程度配分されているか(競争的資金でないもの)について、調査を行います。お忙しいところ恐縮ですが、支部長から皆様宛てにお願いする調査へのご協力をよろしく願います。結果は、みなさまにお知らせするほか、9月の教研集会で報告いたします。

問い合わせ先: 組合事務所 [shimane-uu@soc.shimane-u.ac.jp](mailto:shimane-uu@soc.shimane-u.ac.jp)